



新年おめでとうございます

昨年は思いもよらぬ出来事がたくさん発生いたしました。それぞれ自然治癒力旺盛な皆さんなので、元気に回復を頂き、事なきを得ることができました。何よりも元気第一と改めて気づかされました。同時に素晴らしい出来事もたくさんありました。中聖牛の設置3群の完成（玉水橋下流）はすごい成果でした。一昨年（1群）と昨年（2群）は流れ橋が流失する大出水にもたじろぐことなく威力を発揮しました。木津川希少種植生調査管理業務の調査と除草作業が11月中に完了し、京都府交響プロジェクト事業6イベントのうち残すところ地域説明会のみに到達しています。そのほか計画した事業の数々も素晴らしい成果を収められました。

新年はいよいよ結成25周年を迎える年で12月12日が記念事業日と決定しています。新年早々6日は七草摘みと七草粥の会を開催いたします。また新しくイタセンパラの復活を目指す取組みが加わり正月19日に竹門先生始め16名の皆様にご参集いただき、ミーティングを開催いたします。新年から全力疾走でのスタートになりますが、理事全員先頭に立って事業の推進をがんばってまいります。近年内外から高く評価をいただく一方、会員数の減少に歯止めがかからず組織力の衰退傾向にあります。

新年を迎えこれら諸課題を再認識し、常に新しい峰を築いてきた歴史に学び「自然を大切にする仲間の輪を大きくする」スローガンをさらに高く掲げ力を合わせ、前進いたしましょう。

2020 年元旦

特定非営利活動法人

国土交通省近畿地方整備局河川協力団体

京都府絶滅危惧種保全指定団体

やましる里山の会 理事一同

1 月の取組み案内

1 月 5 日 13 時 里山農園 七草摘み七草粥の会前日準備

1 月 6 日 9 時 30 分 里山農園七草摘み七草粥を食べる会

1 月 8 日 9 時 30 分 事務局会議

1 月 9 日 10 時 パソコン教室 週刊ニュース発送

1 月 8 日 黒豆味噌づくり参加締め切り

1 月 15 日 13 時 木津川土砂部会 中書島

1 月 15 日 17 時 京都府レッドデータブック学習会
キャンパスプラザ、「蛾」について

1 月 19 日 13 時 30 分 イタセンパラミーティング

京田辺市中部住民センター

1 月 21 日 7 時出発 黒豆味噌づくり 福知山市夜久野町

1 月 25 日 10 時 近畿子どもの水辺八幡市文化センター

1 月 25 日 10 時 炭焼体験 原木の切り出し 運び出し

事務局会議 毎週水曜日 9 時 30 分より
会員なら自由参加：発言責任制

●26 日午後 会誌 47 号を山城各自治体に配布

11 月に 47 号を発行して以来、これまで山城地域の自治体の首長、議会議長、それに各教育長に配布してきましたが、今年は配布が出来ていませんでしたので、パソコン教室の最終日の午後に全域を訪問して回りました。特に木津川市は、全小学校教育児童への魚とリイベントの開催紹介チラシの配布が 2020 年には行わないとの通告がされておりましたので、この際に申し入れておかなければと思い、まず議会事務局をお尋ねしました。対応に当たってくれた人は、この取り組みによく理解されておりましたので、私の方から十分に伝えておきますということでした。同時に事前に取り組みが始まれば、文章での申し入れを送付されることが大切だと助言を頂きました。2 時 30 過ぎには相楽郡内を回り切り、京田辺市、八幡市、久御山町を過ぎると 4 時を過ぎました。宇治市を出たのは 4 時 45 分、城陽市には 55 分ぎりぎりに間に合いました。宇治田原町や井手町は回り切れませんでした。

●27 日 9 時 30 分炭小屋の草刈り

ここしばらく炭焼体験を行ってこなかったもので、屋根まで葛蔓が繁茂していることが判明し、草刈りを実行しました。それも年度末ぎりぎりの 27 日になり、当日集まったのは 7 人。作業は窯周辺のつる草や笹竹の刈り取りと、小屋柱に絡みついて葛の蔓の除去ですが、特に周囲の刈り取りが困難でした。炭用の原木が二窯分積み上げてあり、その裏には手がまわり難く、その上にならし杭が残ってトタンで屋根がしてあるのでさらに困難でした。奥にある広場への通路や水平煙突への通路確保は困難至極で、草が大きく高く密集した状態に葛が上部を覆っていて、地面には放置した鉄杭やブリキ板、火鉢などが隠れているので思い切って力を入れて刈り取ることが出来ず、恐る恐る目で確認しての作業となりました。最後に窯周辺に積った枯葉の除去、焚口や焚口前の整理整頓を行って、見違えるほどに片付けました。周囲の畑地の草刈りまで時間がなく、とりあえず道路からの見栄えはすごくきれいになって、一端終了しました。

●28 日ハイキングコース年末清掃

翌日は京田辺の最高峰に登ろうと呼びかけ、約 7 km のハイキングコースの清掃点検作業に、有田、太田、播川、森島、金田さんの 5 名が集まりました。二班に分かれて作業を行いました。千鉾山付近では台風の風で倒れた木や竹で完全にコースが分断されていて、手作業ではどうにも出来ない状態でした。今回はチェーンソーの作業が必要です。9 時 30 分から歩き始めて終了したのは 14 時頃でした。昨日と本日、年末の押し迫っての作業に二日間頑張っていた皆さんご苦労様でした。

●28 日草内倉庫の整理

ハイキングコースの清掃に 5 人が集まっていたので、草内倉庫の整理整頓に山村が回りました。ほどなく深田さんがかけつけていたので、ピッチが上がりました。焼却処分するものが山のように積み上げっていましたが、三日前の降雨直前に処分しておいたので、収納すべきものの選択が主な作業になりました。しっかりした再生可能な木材や板などは、木津川流域センターに運びこみました。割り木作業の木っ端を集め整地しました。ここも見事に美しく見違えるほどきれいになりました。

●29 日草内倉庫の最終整理

翌日草内倉庫を見直してみると美しくきれいに見えましたが、周囲に目をまわすと、まだまだ枯草が残っています。特に北側の道路面には手つかずでしたので、その部分を刈り取りましたが、完全に周囲を除草できていけませんので、新年にもう一度時間が必要です。

●31 日ササユリ斜面の雑草刈り タラの木の子木で草刈り機が使用できずに鎌で少しづつ

草内倉庫を点検すると気づかなかったところが見つかりました。そのことを教訓にして農園を見回したところササユリ坂が野放しで手つかず状態になっていました。草の中にはタラの木が幼木も含めて数本生育しているので、むやみに草刈り機を使うことができないので、鎌で手刈りをしなくてはなりません。その鎌も全く研いでいないので研ぎ出さねばならず、発電機を倉庫に持ち帰りグラインダーで荒っぽく研ぎました。少し切れが良くなって作業能率が上がったようです。正月三が日のうちに、少しずつ空き時間を見つけて草刈りを行って、6 日には刈り上げたいと思っています。